

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録（案）

日時 平成 28 年 1 月 25 日（月）12：00～13：00
場所 京都大学原子炉実験所 図書棟会議室
出席者 （首都大）海老原充、（大阪府立大）堀史説、（京大）土田秀次、
（京大炉）櫻井良憲、増永慎一郎、田中浩基、高宮幸一、藤井俊行、
中島健、杉山正明、斎藤毅、徐虬

配布資料

- 平成 27 年会計報告/平成 28 年予算（案）
- 前回（10/20）幹事会議事録
- 京都大学原子炉実験所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合わせ

議事

1. 平成 27 年会計報告
増永会計幹事から平成 27 年会計が報告された。異議はなかった。
2. 平成 28 年予算（案）
増永会計幹事から平成 28 年予算（案）が説明された。異議はなかった。
3. 「京都大学原子炉実験所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合わせ」の改正について
櫻井総務幹事から、「京都大学原子炉実験所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合わせ」の改正について、配付資料に基づいて説明があった。中島幹事から、補足説明があった。
4. 来年度の幹事の選挙方法の見直しについて
櫻井総務幹事から、原子炉利用研究者グループ幹事の選挙方法の見直しについて、前回の幹事会の議事録に基づいて説明があった。他の幹事から、選挙の時期、専門分野の分け方などに関する質問があった。議論の後、「1 次選挙として、設定した専門分野ごとに 2 名の投票を行う。次に、1 次選挙で設定得票数以上を獲得した被選挙人に対して分野をまたいだ 2 次選挙を行う。2 次選挙の結果に従い幹事を選出する。」という選挙方法を次回総会で提案することになった。この方法で選挙が実施される場合は、施行時期を十分に考慮し、前回の選挙日程なども参考としつつ行う必要性が確認された。また、専門分野の分け方等について議論を継続することになった。

5. 名誉会員の推薦について

所内の退職者予定者である福永俊晴教授、森義治教授、今中哲二助教を名誉会員に推薦者することが決定された。名誉会員にふさわしい所外の研究者がいる場合は、次回総会までに事務局に連絡することになった。

6. その他

- 増永会計幹事から、今後、将来計画短期研究会のプログラムに原子炉利用研究者グループ総会を正式に組み入れるように協議員懇談会へ要望を出してはどうかとの提案があった。他の幹事から、学術講演会の方が原子炉利用研究者の出席人数が多いので、学術講演会の際に総会を開いてはどうかとの提案が出された。さらなる議論の後、原子炉利用研究者グループ総会を将来計画短期研究会もしくは学術講演会のいずれかに正式に組み入れるよう要望を出すことになった。
- 櫻井総務幹事から、原子炉利用研究者グループの予算状況を鑑み、原子炉利用研究者グループ総会の際の弁当の無料提供の廃止の提案があり、了承された。
- 櫻井総務幹事から、共同利用宿泊所での外国人研究者への対応に関して改善の必要性がある旨状況説明があった。議論の後、外国人宿泊者に対する対応を改善するよう、杉山幹事を通じて運営委員会、協議員会に要望することになった。
- 高宮幹事から、共同利用者宿泊所の駐輪場と喫煙所の整備と新しい自転車の購入計画について説明があった。

以上

書記：徐、齊藤（毅）